

Dragon通信 vol.6



宮古諸島つかさ応援プロジェクト 2011年2月発足

宮古諸島の、御嶽（うたき）を守りお祭りを行うという素晴らしい文化の後継者が減ってしまっているという現状を知り、何か力になれることはないだろうか？という思いからボランティア団体「宮古諸島つかさ応援プロジェクト」ができました。

宮古諸島の後継者不足の問題は、日本全国にも共通することでもあると思っています。メンバーは島外在住ですが、大好きな宮古諸島のために少しでも力になりたい、という思いで活動しています。東京でも何かできないだろうか？とメンバーとアイデアを出し合い活動しています。



利尻昆布は、宮内庁への献上品にもなる高級品で、今回は長さ1mという1等昆布を奉納することができました。

豊年祭は、五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄の祈りを捧げると同時に、つかさを通して神様のから「ゆー」（幸せ）をわけてもらえるありがたいお祭りです。

そんな豊年祭を行うには、その地域のつかさがいないとできません。しかも、つかさは三人で神事を執り行うため、1人欠けても行事を行うことは叶いません。

何百年も続いてきたのは、過酷な環境のなか、自然に感謝すること、命を大切にすること、そこに島の人たちの和の精神、助け合いの精神が折り重なった賜物でしょう。

残念ながら、今年は佐良浜と伊良部ではつかさがいないため、お祭りはできませんでした。3年前はあんなに盛大にやっていたのが嘘のようです。

後継者がいなくなった途端に何も無くなってしまったので、なんとも寂しい気がします。

とはいえ、今年も長浜地区と仲地地区のゆーくいに、長浜地区の洲鎌さんのお名前のもと、今年もつかさ応援プロジェクトは参加させていただきました。



中央につかさが輪になって奉納舞をしています。よく見ると、手に「昆布」をもって舞ってくれています！（場所：仲地御嶽）

昆布奉納のご協力
本当にありがとうございました！！

門脇満 様（北海道）
川口信也様（沖縄県）

去年までは、子供達がお祭りに参加して楽しい思い出になるようにお菓子の奉納をしていましたが、今年は、島の神事や日々の食卓に欠かせないもの、昆布！にしようということになりました。不思議なことに、宮古に関することをしようとすると、話がトント拍子に進むもので、なんと沖縄から遙か離れた北海道で漁師をされている門脇さんと、沖縄在住の川口さんのご協力で最高級の昆布を豊年祭で奉納することができました。そしてお菓子がなくて子供達がかかりするかな？と案じていたのですが、なんと満月会さんからお菓子の奉納があったので子供達の方も万事オッケーでした。



白いシャツを着た方が門脇さんです。ありがとうございました！

みんなで奉納準備。出来上がりの状態（奉納直前）



【ご案内】

ゆーくいに来年是非参加したい！と思われた方は、ていだの郷のHP：
<http://ameblo.jp/gajumaruinfo/>
宮古諸島つかさ応援プロジェクトのHP・ブログは以下になります。
irabujima3.jimdo.com
BLOG：hatena.ne.jp/irabujima

【お問合せ】

Facebook https://www.facebook.com/irabujima3?ref=aymt_homepage_panel
メール irabujima3@gail.com

